

教職員の皆様へ

教育センターだより【10号】

令和元年10月1日発行



518-0485

三重県名張市百合が丘西5番町25番地

事務室・教育よろず相談 1F

Tel 0595-64-8801 Fax 0595-64-8802

E-mail:kyouiku-ce@city.nabari.mie.jp

minakuru01@nabari-mie.ed.jp

ホームページ <http://www.nabari-mie.ed.jp/minakuru/>

適応指導教室（さくら教室）2F

Tel 0595-63-7830 Fax 0696-63-7830

E-mail:sakura@nabari-mie.ed.jp

学校ボランティア室 1F

Tel 0595-64-8864 Fax 0595-64-8802

平成30年度プロジェクト研究発表

ふるさと学習「なばり学」

8月27日（火）、教育センターで昨年度のプロジェクト研究である「なばり学」を実際に活用した授業や校外活動における実践例の発表がありました。昨年度事務局を務めた西口さんから、ふるさと学習のコンセプトや「なばり学」の概要説明があり、その後、6つの学校から実践例を紹介していただきました。※所属はH30年度のもの

| 学校 | 北中学校 | 桔梗が丘中学校 | 南中学校 | 名張中学校 | 名張小学校 | 桔梗が丘小学校 |
|-------|---|--|--|--|---|---|
| | 青木 菜実 先生 | 竹本 美奈子 先生 | 野口 由佳 先生 | 竹野 弘樹 先生 | 森永 侑樹 先生 | 生田 志保 先生 |
| 発表の概要 | 希望する講座ごとに市内の福祉施設での校外学習を行いました。今年度は平和学習も絡めての活動をを行う予定です。 | 地元の企業の努力を学び、職場体験学習への意欲を高めました。働くことの目的など、考えを深める姿も見られました。 | オーストラリアの学校との交流や国際交流イベントで、英語で名張を紹介するなどし、子どもたちも自信をつけました。 | 名張での戦争や被弾ピアノについて学習し、修学旅行での平和セレモニーや、なかま集会での意見交換につなげました。 | 能の見学や体験教室に参加しました。また、伊賀米が全国でも高い評価を受けていることにも着目し、学習を深めました。 | 子どもたちから講師先生への質問を中心に一ノ井松明調進について学習しました。学習の成果は集会で校内発信しました。 |

書写の基礎基本

8月19日（月）

福村 俊夫 先生（名張市立名張小学校教諭）

岩森 進 先生（名張市立梅が丘小学校教諭）



毛筆・硬筆の基本や指導法だけでなく、水書についても実際に先生方も体験しながら楽しく学ぶことができました。具体的に、活動前に筆をほぐすことや、止め、はらいなどに加え、「三」という字の中にある「一」は、3本とも違う「一」であることなど、改めて字を書くという1つ1つのことに込められた気持ちや技術に触れることができました。また、右の写真のように、大きな筆で好きな言葉を書くことにも挑戦しました。



教科・領域研修

体育実技講習会

8月26日（月）

「走力と柔軟性向上のために」

徳地 和子 先生（アクティブ名張スポーツクラブ インストラクター）



ストレッチに入る前に、まず靴紐の正しい結び方の講習もあり、ただストレッチするだけでなく、日常の座り方や寝る時の姿勢、食事のとり方など、生活習慣に関わる多くのことを教えていただきました。タオルや長い棒を利用したストレッチは、自分の柔軟性や必要に応じて行うことができ、授業の良いヒントとなりました。

また、短距離走では、実際に桐生選手やサニブラウン選手の走法やトレーニングの話も交えながら、走るとき後方に足を跳ね上げず、置くようにしながら前へ前へと坂を下るように足を運ぶことなど、実際に先生方も練習しながら学ぶことができました。

【国語】 8月20日（火）

主体的で対話的で深い学びの実現に向かう授業改善

青木 伸生 先生（筑波大学附属小学校教諭）

模擬授業形式で「すがたをかえる大豆」「ごんぎつね」などの教材をどのように扱うかについて、具体的な指導法をわかりやすく示してくださいました。特に印象的であったのは、段落ごとに縦に区切るのではなく、伏線を読み取る（＝横に区切って読む）ことの重要性についてです。その中での気づきや新たな発見を実際に体験することで、多くの先生から「教材研究の新しい視点となった」という感想が聞かれました。国語の授業において「読む」ということは「謎解き」であるという言葉によって、1つ1つの教材が持つ深さやその味わい方など、大変視野を広げる研修となりました。



同時に、「対話」は「子どもたちから自然に生まれてくるもの」であるべきとし、その具体的な発問の手法を含め、「主体的で対話的で深い学び」についても言及していただきました。

ふるさと学習「なばり学」 実地研修

赤目四十八滝

8月27日(火)は、実際に赤目四十八滝へ足を運び、滝の見学を行いました。滝フレンドの方が案内役として4名引率して下さり、様々な地形や滝の成り立ちなどについて詳しく教えていただきました。布引滝を少し越えた所(3分の1程度)までしか進みませんでしたが、約1時間半歩中で、赤目滝はいろいろな角度から滝を見ることができるようになっているといった地形や順路になっているため、滝の姿を大変満喫することができました。



サンショウウオセンターでも、その生態などについてお話を聞かせていただくなど、充実した研修となりました。

参加された先生方からも「子どもたちを引率する前に自分の足で歩き、しっかりとした予習ができたことはとても有意義だった。」などという声が聞かれました。



名張市内フィールドワーク

同日午後は、市内フィールドワークとして、次の場所を見学に訪れました。文化生涯学習室の門

①名張藤堂家邸跡 田了三さん、地域学校協働本部チーフコーディネーターの谷戸実さんが引率や説明を中心に行ってくださいました。

②名張市郷土資料館

③夏見庵寺展示館

④(株)オキツモ

⑤美旗市民センター

⑥新田用水・美旗古墳

⑦観阿弥創座の地

※⑥⑦は車中見学

名張の歴史に触れ、その時代ごとの社会的背景だけでなく、その一つ一つが歴史上重要な役目を果たしていることもよく理解できました。また、発見された遺跡などが、古代どのような物として扱われていたかなど、当時の生活や人々の考えなども研修できました。(株)オキツモでは、様々な塗料の開発が行われ、特に耐熱塗料などは、日常私たちが使用している身近な物にたくさん利用されており、説明をうけるごとに「そうやったんか!」「なるほど!」という先生方の声が何度も聞かれました。

ぜひ今後の授業や校外学習など、現場での実践に役立てていただければと思います。

名張市郷土資料館



(株)オキツモ



美旗市民センター



今さら聞けない。教えて、パールソン!

オッケー



Q:新学習指導要領にある三つの柱の中にある「学びに向かう力、人間性など」って具体的にどういうこと?

A:新学習指導要領では、これを「学びを人生や社会に生かそうとする力」としており、情意や態度面に関するものと言えます。学習者自身が自分の取り組み方や気持ちなどを振り返りながら、それらをコントロールしたり、よりよい態度に改善しようとするなど、「メタ認知」に関わるものです。

学習の中で、他と関わろうとする力や、さらに協働作業におけるリーダーシップや思いやりの気持ちが育ったり、それを学習活動の中で発揮したりすることを期待するものです。学習内容や、自分が所属する集団、そして社会へと積極的に関わろうとする気持ちや態度を、教科学習や学校行事等でいかに育てていくかが重要となります。



次回
センター
Cafeの
ご案内

お待ちしています!

第4回 10月19日(土)

第5回 11月16日(土)

いずれも13:30~15:30

第8号「なばり学クイズ」の答え

・柱状節理の岸壁をもつ溪谷

かおろだに

・美旗古墳群最大の前方後円墳

うづつか

・名張でご馳走とされた海の幸の料理

いわし

・「つめたい」を名張の方言で

ちひたい

・旧細川邸。奈良県の薬点店の支店

やぶせしゅく

・名張駅前観阿弥像が持っている物

2うめん

→この白抜きの6文字を並べ替えると

まなびのちず

となります。

「学びの地図」が正解でした!

2名様、おめでとう!

さくら教室 ★卒業生との交流会★

8月21日(水)、教育センターの多目的スペースで、さくら教室は卒業生との交流会を行いました。参加した卒業生は計9名で、大学生や専門学校生、高校生など、今それぞれのステージで頑張っている元気な姿を見せてくれました。現在さくら教室に通級している人たちに対し、自分の近況や目標(「今は〇〇の資格を取得するために頑張っています。」など)を話す中で、人との「縁」の大切さなどにも触れ、とても素敵な交流会となりました。中には、ギターの弾き語りでメッセージを伝えてくれる卒業生などもあり、多くの面で勇気づけられたり明るい展望を与えられたりした貴重な機会となったのではないかと思います。

その後、現在通級している人たちから、流しそうめん・フライドポテト・餃子ピザなどがご馳走され、皆和気藹々と食べながらの交流を楽しみました。流しそうめんのセットについては、一ノ井市民センターさんから道具をお借りし、そのセッティングなど多くの面でご協力いただきました。ありがとうございました。

